

2014年10月2日

平成 26 年度航空機事故消火救難総合訓練（第 33 回）を実施します！

成田国際空港において、航空機事故が発生したことを想定し、空港内外の関係機関が一体となった各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図ることを目的として、下記のとおり消火救難総合訓練を実施します。

記

1 訓練の概要

日時：10月16日（木）13:45～15:45 [予備日：10月23日（木）同刻]

※台風等荒天による中止の判断は、当日の10:30に行います

場所：成田国際空港内 整備地区エプロン及び第1旅客ターミナル28番バスゲート

主催：千葉県

主催：成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、成田国際空港株式会社

2 参加機関、人員、車両台数

65 機関、約 1,200 名、約 300 台（緊急車両等）

3 提供航空機 全日本空輸株式会社 B767 型機



平成24年度の訓練模様

4 今年度の特徴

今年度は、従来までの訓練内容を踏襲しつつ、より実践的で臨場感のある訓練を目指します。千葉科学大学及び国際医療福祉専門学校の協力のもと、両校の学生に傷病者メイク（ムラージュ）を施し、本番さながらの傷病者役を演じていただくことにより、よりリアリティーのある訓練といたします。なお、本訓練の重点項目は以下の5点といたします。

- 航空機周辺の状況把握及び適切な消防車両の接近
- 医療救護活動における傷病者の処置に関する適切な優先順位の決定
- 現場調整所と合同対策本部の連携及び的確な意思決定
- 千葉県広域消防相互応援協定及び自衛隊災害派遣要請による広域搬送
- 無傷者及び軽傷者のケアを実施する被災者一時収容所の設置運用